

い 行ってみよう！ はっくつげんば 発掘現場

おおたじょうあと 太田城跡

梅津新聞

(号外)

2022年 3月4日金曜日

常陸太田市郷土資料館 (西二町 2186) TEL:0294-72-3201



※ 太田城発掘現場は通常、見学できません。見学したい方は資料館に連絡してください。

発掘調査員 ヤマさん

助手 サユリちゃん



発掘ってどうやるの？

サユリ.. よーし、掘るぞー！ ヤマさん.. ちよつと待った！ いきなりスコップで掘っちゃだめだよ！ サユリ.. じゃあ発掘ってどうやるの？

手順① 表面の土を除く

調査する場所の表面の土を、重機を使って遺構のある深さまで取り除きます。



手順② 遺構を見つける

さらに手作業で表面を平らにし、遺構があるかどうか確認します。



遺構と思われるところに白い線を引くよ

土の色がちよつと違うね

手順③ 遺構を掘る

土に埋もれている遺物(土器や石器など)を手作業でいねいに取り上げます。



手順④ 記録する

図面をつくるために、掘りあがった遺構

のひとつひとつを、計測機器を使って測ります。遺構を上から見た図(平面図)や横から見た図(断面図)を作ります。手順⑤ 写真で記録する 遺構や遺物をひとつひとつ撮影したり、調査場所の全体を上空から撮影したりします。



太田城ってどんなお城？

サユリ.. 大きくて深い穴がたくさん！ きつと立派な天守閣だったんだらうな。 ヤマさん.. 残念ながら太田城には天守閣は無かったんだよ。このあたりの中世のお城は山を利用した「山城」や平地に建てた「平城」のように、自然の地形を削り、掘り、盛り固めたところに、木造の建物が並んでいただけなんだ。中世の建物は、今は残っていないけれど、地形として名残をとどめているところがあるよ。



ヤマさん：太田城は天仁2年（1109）に藤原通延が造ったのが始まりと言われているんだ。その後、佐竹氏3代隆義が城をうばい、20代義宣が天正19年（1591）に水戸城に移るまで、佐竹氏の本拠として使われていたんだ。佐竹氏とは、現在の県北地域一帯（常陸国）を約470年間も支配していた一族だよ。

サユリ：すごい人たちがこの場所にいたんだね。

発掘&お城の用語集

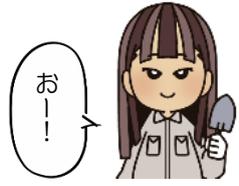
遺構…昔の人の暮らしの跡が残されている場所のこと。

郭…お城の敷地を土塁や石垣で区切った区画のこと。中世は一の郭・二の郭・三の郭とよび、江戸時代は本丸・二の丸・三の丸とよばれることが多いです。

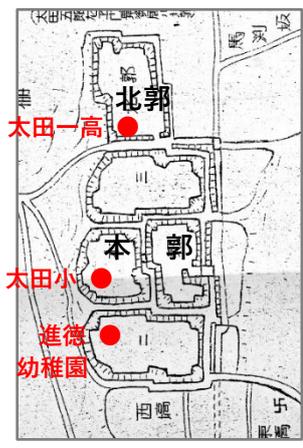
土塁…堀を掘ったときの土を、堀に沿って盛り固めたもの。

堀…敵が入ってくるのを防ぐために、地面を深く掘ったもの。

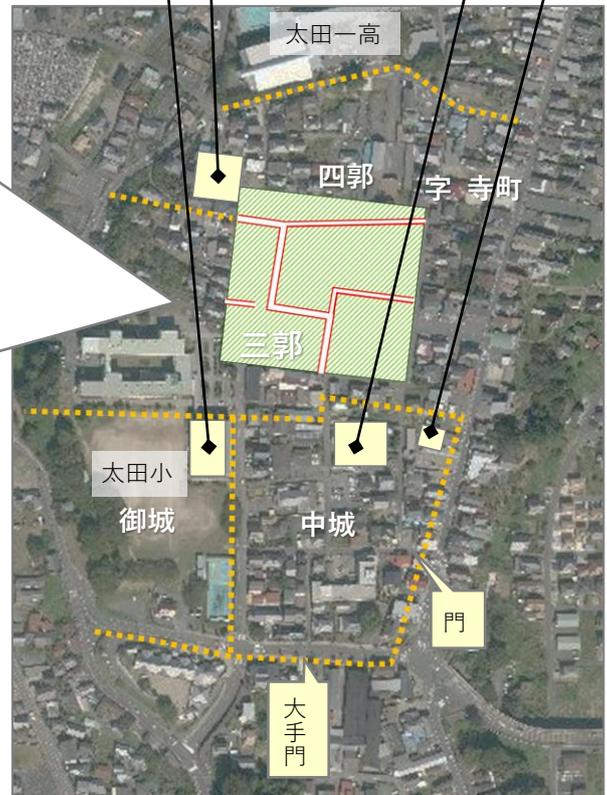
土橋…堀をつくるとき、堀に対して垂直方向に地面の一部を残したものを。堀を渡る橋として使いました。



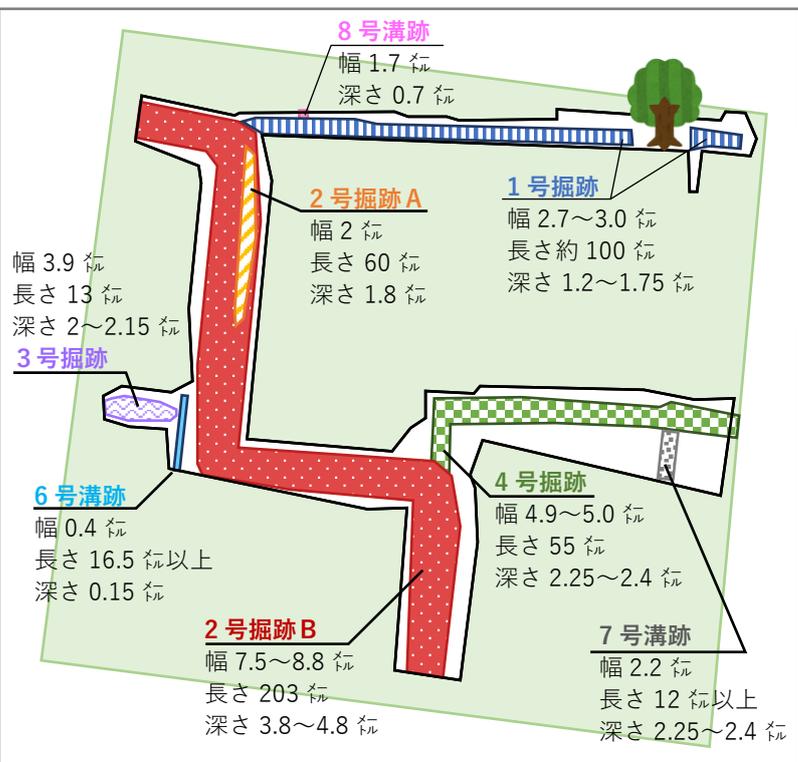
→ 縄張図 川崎春二『奥七郡の城郭址と佐竹470年史』1970より



調査した期間：令和2年6月9日～11月30日
 調査した場所：常陸太田市栄町102-1(写真の [] のところ)



発掘調査でわかった堀跡
 …… 絵図でわかっていた堀跡



調査のポイント 縄張図(お城敷地内の配置図)に描かれていない堀は、どのよう
 な大きさで、どのよう
 うにつながっていた
 のでしょうか？

わかったこと 縄張図
 がない郭をわける大
 きな堀を発見(南が
 三郭・北が四郭)。さ
 らに四郭を分ける堀
 も見つかりました
 (何に使っていたの
 かはわからない)。

まとめ これらの堀
 は、常陸国内でも最
 上級の土木技術を使
 ったものと思われ
 ます。戦国大名の本
 拠にふさわしい、土
 木工事の跡です。